

○総務建設常任委員長（小川務君）

おはようございます。

閉会中の令和 5 年 12 月 4 日ならびに 12 月 12 日に、総務建設常任委員会を開催しましたので、その内容を報告いたします。

12 月 4 日の委員会では、総務課から説明があり、旧湊崎小学校跡地の利活用に係るサウンディング型市場調査について、湊崎地区の自治会長ほか各団体関係者の参画した跡地利用協議会を立ち上げ、今後の旧湊崎小学校の利活用を検討してきた。意見交換会の中で、「広く意見や提案を求めているかどうか」という意見があり、サウンディング型市場調査を行うとの説明があった。

委員から、跡地利用協議会からの要望なのか、町の方から地元をお願いをして実施しようとするものなのかとの質問に、跡地利用協議会の方から、「してみようかどうか」という意見を踏まえて実施するとの回答がありました。

また、特別職の期末手当について、例年、人事院勧告、香川県人事委員会勧告に準じて、一般職と特別職の月例給等を見直している。特別職については、月例給の引き上げは行わないが、期末手当は一般職に準じ、0.05 月分引き上げるが、今年度の適用は見送り、来年度から引き上げする方針との説明がありました。

そのほか、旧土庄高校跡地整備事業の進捗状況と、とのしょう生活応援商品券事業の実施状況の説明がありました。

次に、企画財政課から、土庄町中期財政計画について説明があり、計画では財政調整基金が、令和 10 年度末には約 13 億円となる見込みであり、実質公債比率が右肩上がりに悪化していく見込みである。今後、人口減少により税収をはじめ、その他の歳入は減少傾向となる一方、増加見込みである社会保障費や公債費に備え、事業の徹底した見直しや実施時期の再検討、不用な町有地の売却やふるさと納税寄附金などによる自主財源の確保をさらに推進していく必要がある、また、大部分の施設で老朽化が進んでおり、維持補修費などの維持管理経費増加傾向であるため、施設の在り方や最適化について再検討することに加え、人口減少により施設利用者が減少していく中、維持していくために必要となる使用料の見直しなどを図ることも重要となってくるとの説明がありました。

委員から、実質公債比率をみると、令和 10 年度、11 年、12 年ぐらいには早期健全化基準の 25%になるかもしれない。こうなるとは限らないが、やらなければいけないことができなくなる。そのあたりの対応を考えているのかとの質問に、「財政としては、有利な起債を使ってできるだけ一般財源を使わない。1 つの年度に事業を集中させない。平準化してダメージを少なくするというようなことを中心に考えていかないといけないと考えている」と回答がありました。

次に、建設課から、沖之島離島架橋事業について、進捗状況の説明があり、今後の工程であるブロック据え付けおよび上部コンクリートの施工については、漁業関係者と協議、調整した結果、海苔養殖漁期のために施工を控え、現在工事を中断している。海苔養殖漁期が終わる来年の春ごろから工事を再開する予定との説明がありました。

また、刈崎都市下水路事業についての説明があり、大谷ポンプ場幹線整備工事（2 工区）は、入札後審査型一般競争入札により、落札者が決定し、12 月議会において、工事請負契約の締結についての議案を提案する予定との説明がありました。

委員から、工事は何年で完了なのかとの質問に、「令和 14 年度までである」との回答がありました。

そのほか、土庄町立地適正化計画の経過についての報告がありました。

次に、農林水産課から、土庄町農業集落排水事業の地方公営企業会計適用に伴う条例、規則の制定について、これまで公営企業会計は、3 万人以上の市町村における下水道事業における簡易水道事業について適用を受けていたが、令和 6 年度から 3 万人未満についても公営企業会計の適用対象となる。それに伴い、12 月定例会において、条例、規則を制定した後、口座開設などの本格的な移行事務を進めたいと考えているとの報告がありました。

次に、商工観光課から、エンジェルロード公園駐車場の有料化について、近年、ゴールデンウィーク、秋の行楽シーズン、3 年に 1 回の瀬戸芸の開催年などに駐車場の混雑が常態化しており、また、人手不足による深刻な警備員の不足にも直面している。将来にわたりエンジェルロードを持続させていくためには、財源の確保も急務となっており、そういった背景から駐車場の有料化を計画している。

有料化の方法として、フラップ方式のパーキングシステムを想定しており、電光掲示板なども設置し、利用者の利便性を図ろうと考えている。料金設定等については、検討段階であるとの説明がありました。

委員から、周辺施設との協議状況の質問、駐車場の料金設定についての意見、混雑緩和に対する意見などがありました。

その他、小豆島観光ビジョン策定事業の報告、小豆島マルシェについての報告がありました。

そのほか、委員会の公開（傍聴）の件について審議しました。公開に反対の意見はありませんでしたが、総務建設常任委員会で十分検討が必要との意見があり、次回の委員会で詰めていくという結論に至りました。

続いて、12 月 12 日の委員会では、委員会の公開（傍聴）について引き続き審議し、実際の映像状況を委員全員で確認を行いました。音声等についての指

摘もありましたが、委員会の公開（傍聴）に関する申し合わせ書について、委員全員の了承を得ました。

以上で、総務建設常任委員会の報告を終わります。